

「有珠」を裏で

▶ 対策本部車



一般国道230号洞爺村サイロ展望台
対策本部車(左)・衛星通信車(右)

■概要

災害時に速やかに現場に出動し、情報収集、広報活動、災害対策の指揮連絡等を行う車両。車内に会議用設備、無線機器、衛星電話、携帯用投光器、発動発電機、その他簡易厨房設備、仮眠設備、冷暖房設備を備える。バスタイプと拡幅タイプの2種類。

▶ 降灰除去作業



■概要

一般国道230号洞爺湖温泉町付近の降灰除去作業



▶ 応急組立橋



一般国道230号入江跨線橋応急組立橋

■概要

災害時に輸送経路を応急的に確保するための組立式トラス橋。材質は鋼製で、現地へ分割輸送し、その場で組立・設置が可能。積載荷重25t、車道幅員7.5m、歩道幅員1.5m、橋長50m。

▶ 衛星通信車

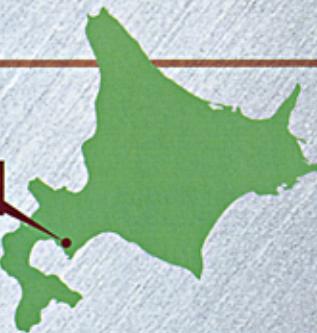


虻田町泉西西山正面衛星通信車

支えた機械たち

北海道開発局局長官房機械課提供

有珠山



▶ 災害対策用ヘリコプター「ほっかい」

■概要

北海道開発局が災害対策用に初めて導入したヘリコプター。災害の規模、状況、範囲などを広域的かつ迅速に調査。また地上作業班と連携し、上空からの状況変化を監視しながら二次災害の防止や円滑な道路交通の確保などにも貢献。



▶ 待機支援車

■概要

現地において長期間多人数が生活できる設備を備えた支援車両。事務室、シャワー室、トイレ、厨房設備、寝室を備えており、最大10人が宿泊可能。リアボディが拡張でき、高い居住性を確保。K-COSMOS（建設省新移動情報システム）を常備。



室蘭開発建設部対策本部前進基地



伊達市館山臨時ヘリポート衛星通信車



伊達市役所前衛星通信車

■概要

現地での通信確保と情報収集を目的に、衛星通信設備を搭載した4輪駆動車両。現地と関係機関との通信回線の確保、ヘリコプターからの画像中継などを担当。地上高9mのポールカメラを装備。衛星通信により日本国内のほぼ全域での通信が可能。